

食と文化と芸術の秋 多彩な催し活発に

食と産業まつり2022

10月22日・23日、木造体育センターで「食と産業まつり2022」(つがる市商工会主催)が開催されました。旬を迎える野菜やさまざまな加工品などが販売されたほか、今年のはつがる市産の食材を使った新名物コンテストも実施。1次審査を通過した4品をセットにして試食販売し、購入者の投票によって各賞を決定。見事最優秀賞に輝いたのは、きくらげを長いものとつぐねで挟み、焼いて甘いいたれを絡めた「きくらげ長いもくつつくね」。開発したスリーブリッジクラブ三橋拓斗代表は「長いものシャキシャキときくらげのプルプルの食感を楽しめる料理。多くの人に食べてもらえる機会をつくってほしい」と喜びを話しました。



最優秀賞を受賞したスリーブリッジクラブの皆さん



旬のゴボウを買い求める買い物客



買い物を楽しむ倉光市長



温かいぎつねうどんも大人気



シジミのすくいどり。スコップでシジミをすくう買い物客



集まったキッチンカーから食欲をそそる香りが漂う会場

11月6日、銀杏ヶ丘公園で「つがる銀杏FES」(きづくり商店街振興会主催)が初めて開催されました。訪れた人たちは、キッチンカーやクラフト展で買い物をしたり、ステージパフォーマンスを鑑賞したりするなど、深まる秋の一日を楽しんでいました。

家族連れで鶴田町から訪れた藤本奈那美さんは「SNSで開催を知って、初めてこの公園に来た。そそられる食べ物がたくさんあって、にぎやかで楽しい」と話しました。

つがる銀杏FES

総合文化祭

10月29日・30日、松の館と木造体育センターで「第18回つがる市総合文化祭」(つがる市文化団体協議会主催)が開催されました。作品展示部門では、写真や書道、盆栽など多種多様な作品を展示。舞台発表部門では、歌や踊りをはじめ、木造高校OB吹奏楽団フレンドリーが演奏を披露するなど、日ごろの練習の成果を発表しました。3年ぶりに華道部門に出席した小嶋治美さんは「華道は穏やかな気持ちにさせてくれるところが魅力の一つ。来た方に気持ちのいい空間で癒されると言ってもらえてうれしい」と話しました。



息の合った歌声を披露するコーラス蕾の会



浅草遠州一清流一清会



華やかな衣装をまとい手踊りを披露する車力京和会



車力書道会



つがる写真クラブ



お茶をたてて振る舞う遠州流茶道木造支部



バルーンアートに釘付けの子どもたち



体も温まる熱々のカニ汁



会場を沸かせたヒップホップダンス



笑顔いっぱいの演舞を披露する女舞姫



熱い声援が送られたプロレス



小物がずらりと並んだクラフト展